

一般社団法人日本解剖学会 2024(令和6)年度第1回常務理事会議事録

日 時：2024(令和6)年2月3日(土) 13:00～16:30

場 所：一般財団法人口腔保健協会（3階302会議室）

出席者：寺田 純雄（理事長）、仲嶋 一範、福田 孝一、大和田 祐二、尾崎 紀之（以上、常務理事）、市村 浩一郎、大野 伸彦、竹林 浩秀（以上、常任幹事）、中村 聡、伊藤 杏佳（口腔保健協会）

欠席者：なし

I. 理事長 挨拶

寺田理事長から挨拶があった。

II. 会議記録の確認

以下の会議記録が確認された。

(1) 2023(令和5)年度第6回常務理事会（2023(令和5)年12月16日開催）記録（案）

(2) 2023(令和5)年度第5回理事会（2023(令和5)年12月16日開催）議事録（案）

III. 報告事項

1. 庶務報告

(1) 会員異動報告

資料に基づき、以下の通り報告があった。

・令和5年12月分

入会者：正会員 2名

退会者：正会員 23名、学生 2名、団体会員 2名

・逝去会員（なし）

・新規就任教授

藤田 恵子 氏（埼玉医大・解剖学）令和4年2月1日就任

川岸 久太郎 氏（山形大・医・解剖1）令和5年10月1日就任

天野 カオリ 氏（神奈川歯大・解剖学）令和5年12月1日就任

(2) 学会宛文書類について

資料に基づき、以下の通り到着した文書の報告があった。

通知・依頼：（公社）日本顕微鏡学会より「Microscopy便り配信依頼」他35件

書籍・定期通信 他：名古屋大学より「第42回人体解剖トレーニングセミナー報告書」他6件

(3) 年会費納入状況について（長期未納者の除名について）

資料に基づき、3年間未納者（38名）について報告された。除名手続きを行う前に、支部長を中心に未納者に対して、納入について声かけを行うこととなった。

(4) 各種委員会報告について

資料に基づき、2023（令和5）年度における各委員会の活動内容が報告された。

(5) 2024(令和6)年度定時社員総会の資料作成について

資料に基づき、作成状況が報告された。

(6) 2024(令和6)年度定時社員総会の案内と書面表決状について

資料に基づき、案内状と書面表決状の内容、ならびに今後書面表決状を電子化する方針について、報告された。

(7) 支部代議員会報告（近畿・中国四国・九州支部）

資料に基づき、以下の支部代議員会の議事録が報告された。

・第99回近畿支部学術集会 代議員会（2023年11月18日開催）

・第77回中国・四国支部学術集会 代議員会（2023年10月14日開催）

・第79回九州支部学術集会 代議員会（2023年11月11日開催）

- (8) 男女共同参画学協会連絡会報告
資料に基づき、男女共同参画学協会連絡会 第22期定時総会と第1回運営委員会（2023年12月4日開催、本学会は欠席、委任状対応）の議事録が報告された。
- (9) 京都大学ヒト行動進化研究センター「共同利用・共同研究拠点」への申請に関わる要望書について
資料に基づき、令和7年度より開始される「共同利用・共同研究拠点」への京都大学ヒト行動進化研究センターの申請にあたり、解剖学会としての要望書を送付したことが報告された。
- (10) 若手研究者の会報告
資料に基づき、2024年春の学校、および解剖学雑誌99巻第1号に掲載予定の活動報告について、報告された。
- (11) その他
特になし。

2. 編集報告

- (1) 解剖学雑誌及びA S I 刊行報告及び刊行予定
資料に基づき、2024年1月にASI Vol.99 No.1が刊行され、発送予定であることが報告された。また、2024年3月にASI Vol.99 No.2および解剖学雑誌99巻1号が刊行予定であることも報告された。
- (2) 解剖学雑誌99巻1号の構成について
資料に基づき、特集などの掲載予定の内容と著者について、報告があった。
- (3) 第12回日本医学雑誌編集者会議（JAMJE）総会・第12回シンポジウム対応について
資料に基づき、「AIと医学雑誌編集」のテーマで行われるシンポジウムの内容と、同シンポジウムに福田孝一常務理事（編集担当）が出席予定であることが報告された。
- (4) ASIにおける学術刊行物指定請求について
資料に基づき、ASIの学術刊行物指定請求に関する日本郵便からの審査結果の内容が報告された。それをふまえ、ASIの学術刊行物の認定取得は断念し、「ゆうメール」の要件を満たして発刊・郵送する方針が報告された。
- (5) 2023(令和5)年度学会ホームページアクセス解析報告
資料に基づき、年間アクセス数の増加やガイドラインへのアクセスの増加など、解析結果が報告された。
- (6) その他
特になし。

3. 企画・渉外報告

- (1) 2024(令和6)年度第129回総会・全国学術集会準備状況について
資料に基づき、関連集会を含めた開催日程が報告された。また、演題の抄録において「解剖体を用いた研究についての考え方と実施に関するガイドライン（令和3年度改訂版）」に則していないものが散見され、次回の全国学術集会から同ホームページでガイドラインの周知を図る必要があることも報告された。
- (2) 2025(令和7)年度第130回総会・全国学術集会（APPW2025）準備状況について
資料に基づき、プログラム委員会のメンバーが報告された。

(3) 日本医学会・日本医学会連合報告

資料に基づき、2023年度日本医学会分科会用語委員会（1月15日Web開催、若山解剖学用語委員出席）の議事内容が報告された。また、第91回日本医学会定例評議会/連合2023年度臨時総会（2月21日Web開催、尾崎常務理事出席予定）の次第、日本医学会連合10周年記念事業「一般社団法人日本医学会連合の設立を振り返る」（3月1日イイノホール・東京都にて開催、大和田常務理事出席予定）の次第、第32回日本医学会総会の開催日程（学術会議・学術展示：2027年4月23～25日大阪国際会議場、一般（市民向け）展示：2027年3月20～28日大阪うめきたエリア）が報告された。

日本医学会連合から「基礎部会 Rising Starリトリート」に参加する若手研究者の推薦依頼があり、賞・研究費候補者選考委員会（1月24日口腔保健協会302会議室・Web会議併催）において以下の2名の推薦が決定したことが報告された。

- ・堀井 謹子 氏（奈良県立医科大学医学部解剖学第一講座、講師）
- ・中里 亮太 氏（広島大学大学院医系科学研究科解剖学及び発生生物学研究室、助教）

(4) 生物科学学会連合報告

資料に基づき、第28回定例会議（2023年12月19日東京大学にて開催、大和田常務理事出席）の議事内容が報告された。

(5) 日本脳科学関連学会連合報告

前回の常務理事会以降、報告すべき事案がなかったことが報告された。

(6) 国際渉外関係について（KAA、APICA、IFAA）

2024年9月に韓国（光州）で開催予定であるIFAA2024について、韓国解剖学会（KAA）のJim Joo Rhyu理事長から日本解剖学会の会員への情報周知の依頼があり、OHASYSを通じて開催概要を会員に配信したことが報告された。また、Rhyu理事長から、IFAA2024においてイノベーター的な研究・教育に関するシンポジウムを開催したいとの提案も合わせてあり、学術委員会において検討することが報告された。また、APICA（アジアパシフィック国際解剖学会議）の次回開催地について、Rhyu理事長から情報提供があったことも報告された。

(7) 日本外科学会CST推進委員会報告

資料に基づき、日本外科学会令和5年度第3回CST推進委員会（1月15日web開催、大和田常務理事、渡辺監事、八木沼監事、藤本委員、伊藤、中村（以上、学会事務局）が出席）の議事内容が報告された。また、第124回日本外科学会定期学術集会におけるシンポジウム「CSTの新展開：法人化に向けて」（4月20日愛知国際会議場にて開催予定）において寺田理事長と八木沼篤志解剖全国連合会会長が講演することが報告された。

(8) その他

日本医学教育学会との連携シンポジウムに関する対応について報告された。

4. 会計報告

(1) 2023(令和5)年度支部学術集会収支報告について

資料に基づき、第99回近畿支部学術集会（2023年11月18日開催）、第77回中国四国支部学術集会（2023年10月14～15日開催）、第79回九州支部学術集会（2023年11月11日開催）の収支決算について報告された。

(2) 2023(令和5)年度決算書概要(案)について

資料に基づき、2023（令和5）年度の日本解剖学会収支決算報告書（案）、日本解剖学会特別会計（名簿作成積立金・特別事業積立金）収支決算報告書（案）の概要が報告された。雑収益の増加（解剖学用語のソフト組み込みに伴う著作権使用料）、および若手研究者の会運営費、若手育成支援の特別事業積立金からの支出などについて、説明があった。

(3) 賞・研究費候補者選考委員会報告、ならびに2024(令和6)年度奨励賞募集概要について

資料に基づき、賞・研究費候補者選考委員会（2023年12月21日口腔保健協会302会議室・Web

会議併催)において、2023(令和5)年度の日本解剖学会奨励賞の候補者として以下の3名の推薦が決定したことが報告された。また、2024(令和6)年度の奨励賞募集の概要についても報告された。

- ・永井 裕崇 氏(神戸大学大学院医学研究科医科学専攻、助教)
- ・横田 睦美 氏(順天堂大学大学院医学研究科神経機能構造学、助教)
- ・小池 太郎 氏(関西医科大学解剖学講座、講師)

(4) その他
特になし。

5. 理事長報告

(1) 中部、中国四国支部理事欠員補充について

木山理事(中部支部)、篠田理事(中国四国支部)より3月31日付で理事辞退届が提出されたため、「定款第19条4項、第23条2項」、ならびに「役員選出細則第5条」に定めがある繰り上げ当選規定に基づき、次点者を4月1日付で繰り上げ当選者とし、選挙管理委員会名で宮田卓樹氏(中部支部)、海藤俊行氏(中国四国支部)に理事就任を要請したことが報告された。

(2) その他
特になし。

IV. 審議事項

1. 教授就任による代議員について

資料に基づき、天野カオリ氏(神奈川歯科大学)の代議員申請が承認された。

2. 永年会員の推薦について

資料に基づき、希望する会員(10名)の永年会員への推薦が承認された。なお、4名については、これから意思確認がなされる予定であることが報告された。

3. 休会申請について

資料に基づき、留学に伴う休会延長の申請1件が承認された。

4. 2024(令和6)年度奨励賞募集基準と選考委員選任について

資料に基づき、日本解剖学会奨励賞の募集要項が承認された。また、次年度委員長候補者として神野尚三氏が承認され、神野氏より推薦を受けた選考委員候補者6名のうち5名に委員就任依頼をすることが認められた。選考委員候補者1名については、専門性などを考慮して神野氏に再度確認することとなった。

5. 2024(令和6)年度予算(案)について

資料に基づき、実績に合わせた2024年度予算案が提案され、承認された。特別会計の全国学術集会助成(50万円)については、コロナ禍でのハイブリッド開催時の追加助成として創設されたが、ダイバーシティ委員会からの要望もあり、今後も継続すること、助成額についても審議を継続することが確認された。

6. 第12回アジアパシフィック国際解剖学会議(12nd APICA)に招聘について

12nd APICAを招聘することを目指して、IFAA2024などにおいて招聘のための活動を行なっていくことが確認された。

7. 次回常務理事会・理事会・支部長会・各種委員会の日程について

資料に基づき、2024年3月の全国学術集会時の役員会および委員会の開催日時について確認された。

8. その他

薬理学会、生理学会、解剖学会などが合同で、日本医学会連合 領域横断的連携活動事業TEAM事業に「ワンヘルスの実現に向けた生命科学研究の推進」を申請したことが報告された。